

平成27年度 ふれあいトーク記録票

と き:11月24日(火) 午後7:00~8:30 会場:さんぽく会館 参加人数:44人

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
山北	1	県境にある浜通りの看板について、鶴岡市と新潟県村上市の看板が2つ並んでいますが、新潟県の看板の文字が見えなくなっています。また来年は鼠ヶ関漁港に天皇陛下もおいでになり観光客も多くなると予想しますので、ぜひ看板をきれいに仕上げてくださいと思います。	ただちに対応します。(市道か確認後) ※対応…中浜漁港整備事業関連で設置した看板であるが、今年度の漁港管理一般経費の予算(修繕料)がないことから、山北支所緊急対応経費において執行することとし、当該看板の修繕を随意契約(見積合せ)により村上市松原町の藤井看板に発注し修繕を行い、12月11日に履行確認を行った。
山北	2	下水道料金と合併浄化槽料金について請求用紙の不備によりましたが、当初公民館にはもらえませんでした。本庁担当に電話したところ、「平等にするというなかにおいて住宅には出せるが公共施設には出せません」とのことでしたが、不平等を感じたため、前山北支所長に相談し、3月に助成金をいただきました。神林地区は合併浄化槽を下水道料金で処理しているとのことですがその件について教えてください。	事情全体を把握はしておりませんが、平等という問題について、地域が一律ではなく、地域でできることできないことがあるということをご前提で考えていただきたいと思えます。現在下水道料金も下水道料金も基本料金と従量の統一を図っています。合併前の神林地区は下水道を通さない部分を合併浄化槽で統一してシフトしたため下水道料金で処理しています。合併したので一律にすることが平等にしようとする村上市として立ち回らないことをご理解いただきたいと思えます。公共交通を例に挙げても、市街地より必要性の高い周辺部に整備することを不平等と同じ考え方だと思っています。
山北	3	合併浄化槽の家を解体し、更地になったところに車が通りふたが壊れて事故につながることも懸念しています。	合併浄化槽を埋める際、業者が十分注意して行っていると思えますし、工事の施工にあたっては市からも業者へ注意喚起を行っていきたく思っています。
山北	4	地方創生関係の交付金額が新潟県は沖縄県に続いて少ないとのこと。村上市は国からどのくらい交付金があるのでしょうか。	地方創生の交付金額は、国全体で平成26年度は1,800億円、平成27年度は下がったということで国が進めようとする地方創生の本気度に疑問視する動きがあります。村上市で8500万円の交付金をいただいております。市では総合戦略と併せて策定している人口減少ビジョンをすでに1年先に動かして事業を進めており、その中で有利な財源を投入していけるように人口減少ビジョンの中で地方創生に合致するものを拾い出し、総合戦略に載せるということをご理解いただきたいと思えます。
山北	5	日沿道の工事関係について黒川俣地区と府屋地区の地権者の合意を得たという噂は耳にしているのですが、八幡地区の地権者との合意等の話し合いはどの程度進んでいますでしょうか。	日沿道につきましては、二地区の推進協議会から大筋合意をいただきまして、残るは八幡地区という状況です。主管の新潟国道事務所の皆様は本当に地域の事を考えておられ、八幡地区においては風況や降雪状況をシミュレーションし、高架とのぼり等どれがベストか進めている状況ですので、概ね合意がいただけるのではないかと情報をいただいております。
山北	6	10月末時点で山北地区の世帯数2,342件の中で、山北地区の旧5か村の中で20世帯未満が13集落のうち7集落が八幡地区です。合併前のお話では20世帯未満の集落に対して助成金を上乗せするという話を公から耳にしたのですが、神林地区と朝日地区から反対を受けなくなったという話をききましたがお話をお伺いできますでしょうか。	私は以前総務課にいましたが、合併後各集落に補助金を出している記憶はありませんので、申し訳ありませんがその件については承知しておりません。
山北	7	山北地区は90数パーセントが森林ですが村上市に合併してからこれまで確立してきた林業が衰退の一途を辿っている。低価格路線もあり山に入る人もいない。農林業の基盤強化と説明していましたが具体策を教えてください。ハザードマップも市が土砂流出森林を示しただけで、砂防ダムや保安林などの対策を詰めるべきだと思います。	今のご指摘については、今後進めるよう検討していきたいと思えます。 森林を産業として復活させるということはまさに村上市の命題だと思っております。具体的な部分でいいますとCLT技術など最先端技術に特化した取り組みを進めながら、市産材を使って産業に繋げられないか、県にもこの地域がモデル化できないか話をしてきました。 それと並行しながら、公共施設を作るときに市産材を積極的に使いたいと取り組んでいます。 また、地域おこし協力隊の方々をチームで入っていただい林業に取り組むような部隊として動いてもらえないかと考えています。

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
山北	8	<p>林道の維持管理について市にお願いすると財源がと断られますが、従前の維持管理については旧山北町では原材料を支給して関係者で補修を行った経緯もあります。</p> <p>農林業の担い手の高齢化に加え、支給も少なくなっていますので、荒廃地を少なくするよう検討していただけないでしょうか。</p>	<p>村上市においては、下越圏域ではありませんが、スタートを関川村にして林道岩船線を基幹林道として国や県が着手してくれるということで、すでに林野庁が調査に入っています。県にも来年度の予算付けをお願いしてあります。動き始めれば山が元気になってくるのではと思いますので、基幹林道プラス周辺林道で使えるところはしっかり整備をして産業にもつなげていきたいと思います。</p> <p>農地の維持修繕について、合併後の村上市でも原材料を用意して、それを使ってくださいという取り組みを進めています。予算がなくても賄えるものはそれに対応してもらいますのでぜひ支所の方でも本庁の方でも言ってください。あるものについてはすぐ原材料を供給できると思っていますのでよろしく願いいたします。</p> <p>優良農地の荒廃を防ぐためには経営の基盤を支えることと担い手をしっかり確保していくことが重要です。担い手には地域おこし協力隊に少し期待をしたいと思っていますので、これも市内全域に投入するのではなく、少しずつトッパーになっていただけるような取り組みを考えていますので今後に期待していただければと思います。</p>